51 楢葉町（ならはまち）

コード番号	075426	類型	Ⅰ－2

町章	所在地	〒979－0604 双葉郡楢葉町大字北田字鐘突堂５番地の６	
	所在地標高	海抜　35.49m	
	ＴＥＬ	0240－25－2111	ＦＡＸ　0240－25－5564
	ＵＲＬ	https://www.town.naraha.lg.jp	
キャッチフレーズ	笑顔とチャレンジがあふれるまち　ならは		
町花	やまゆり	ＰＲキャラクター	ゆず太郎 ゆりかちゃん
町木	すぎ		
町鳥	うぐいす		

区分	氏名(ふりがな)	任期満了日	報酬(月額)
町長（４期）	松本幸英（まつもとゆきえい）	令和10年４月29日	778.0千円
副町長	松本栄樹（まつもとひでき）	令和９年３月31日	617.0千円
議長	青木基（あおきもとい）	令和７年８月31日	296.0千円
副議長	草野公雄（くさのきみお）	令和７年８月31日	254.0千円

区分	人口	うち15歳未満人口	うち65歳以上高齢者人口	世帯数	うち高齢者単身世帯数	面積
H17年国調	8,188人	1,242人	1,976人	2,647世帯	203世帯	103.64㎢
H22年国調	7,700人	1,021人	1,995人	2,576世帯	239世帯	人口密度
H27年国調	975人	3人	185人	839世帯	54世帯	63人/㎢
R2年国調	3,710人	259人	1,388人	1,977世帯	253世帯	
R6.1.1住基	6,480人	566人	2,324人	3,130世帯	高齢化率	35.86% 県下37位

産業別就業人口(R2年国調)	第１次産業	第２次産業	第３次産業	一人当り分配所得(R３年)
	（4.1%）67人	（29.0%）472人	（66.8%）1,086人	6,077千円 県下6位

有権者数 R7.3.1	男	2,905人	女	2,662人	計	5,567人

議員	(旧)法定上限	18人	条例定数	11人	衆議院議員選挙区
	現員	11人	任期	令和７年８月31日	第４区

町の沿革

昭31.9.1　合併　龍田村、木戸村

町の概要

（自然条件）
福島県浜通り地方の中程に位置する楢葉町は、103.64平方キロの面積を持ち、西は緑豊な阿武隈高地、東には太平洋の大海原が広がり、町を木戸川と井出川が流れサケの溯上や鮎などが生息する恵まれた自然を有し、東日本型海洋性の太平洋岸式気候で比較的寒暖の差も少なく、積雪も年に１～３回程度と一年を通して過ごしやすい環境を有している。

（産業・経済）
産業は農業が主だが、農工一体の町づくりを進めた結果、建設業や製造業などが着実な伸びを見せている。今後は、新産業の推進を図り、魅力ある特産品の創出と観光資源の有効活用に努め、町全体の経済活性化を図る。

（観光・文化）
観光の拠点として、国内最高水準のサッカートレーニング施設「Jヴィレッジ」や天神岬スポーツ公園内の宿泊施設「サイクリングターミナル展望の宿天神」、温泉施設「しおかぜ荘」があり、国道６号線沿いの「道の駅ならは」も温泉設備が整えてあり人気を呼んでいる。また、木戸川の鮭は、東日本大震災からの再生を目指しふ化事業等に取り組んでいる。

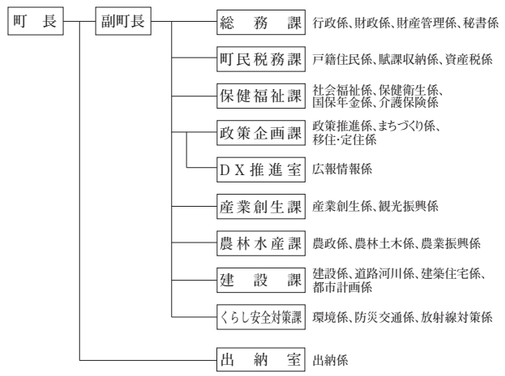
（伝統行事・伝統芸能）
大滝神社浜下り行事(県無形文化財指定：４月第２日曜)、北田天満宮初天神、盆踊り、芸能発表会、鳥小屋行事(各地区)

（特産品）
マミーすいとん、ジェラート、楢葉の風(日本酒)、ゆず里愛、ならはう米GABA＋(水稲)、甘藷(さつまいも)、木戸川の鮭、感謝のゆずぽんず、感謝のゆずドレッシング

総合計画等の策定状況

名称	第６次楢葉町勢振興計画
策定年月日	令和３年４月１日
計画期間	令和３年度から令和12年度まで

組織機構



R７年度重点事業

(震災関連)	○交流人口拡大事業	156百万円
〃	○移住・定住促進事業	460 〃
〃	○健康サポート事業	12 〃
〃	○特産品開発センター維持管理事業	127 〃
〃	○営農再開支援事業	94 〃
〃	○ふくしま森林再生事業	306 〃
〃	○商業施設整備事業	432 〃
〃	○サイクリングターミナル施設維持管理経費	114 〃
〃	○放課後等教育運営事業	13 〃
〃	○小学校施設整備費	90 〃
(震災以外)	○総合グラウンド整備費	83 〃

一部事務組合等への加入状況

双葉地方広域市町村圏組合
双葉地方水道企業団

主な地域開発区域指定状況

辺地　過疎　準過疎　山村　豪雪
特豪　農産　特農　原発

職員数

一般行政職員	83人	技能労務職員	1人	条例定数
教育職員	7人	その他	14人	123人

（企業職員、税務職員、福祉職員、看護・保健職員等のほか、１年を超えて勤務する定数外職員を含む。）

	R3	R4	R5	R6
職員総数	111人	110人	103人	105人

財政(普通会計)

(1) 決算

（千円）

区分	歳入	歳出	形式収支	実質収支	実質単年度収支	積立金現在高	うち財政調整基金	地方債現在高	翌年度以降債務負担行為残高
R３決算	12,982,512	11,509,873	1,472,639	766,716	▲ 178,796	18,120,918	5,290,466	597,846	605,300
R４決算	12,076,159	11,292,507	783,652	424,913	▲ 582,089	17,416,378	5,449,180	502,891	306,164
R５決算	12,256,192	10,866,268	1,389,924	427,238	14,645	17,485,787	5,674,500	411,379	749,762

(2) 指標（　　）は類似団体

（千円・%）

区分	標準財政規模	財政力指数	経常収支比率	健全化判断比率 実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率 比率	備考(事業名等)
R３決算	（2,074,475）3,483,055	（0.23）0.83	（79.7）75.7	－	－	（6.6）0.0	－		
R４決算	（1,973,367）3,258,920	（0.22）0.78	（82.9）69.8	－	－	（6.8）▲ 0.6	－		
R５決算	（1,893,766）3,315,956	（0.19）0.73	（85.4）70.4	－	－	（7.3）▲ 1.4	－		

(3) 主な歳入（　　）は構成比

（千円・%）

区分	地方税	地方交付税	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	計
R３決算	（14.5）1,888,913	（13.1）1,705,285	（24.7）3,207,416	（5.3）693,188	（0.0）0	（42.4）5,487,710	（100.0）12,982,512
R４決算	（15.8）1,910,026	（11.5）1,394,733	（23.1）2,785,077	（7.0）847,644	（0.0）0	（42.6）5,138,679	（100.0）12,076,159
R５決算	（15.4）1,891,110	（14.6）1,795,375	（26.0）3,182,656	（9.0）1,108,123	（0.0）0	（34.9）4,278,928	（100.0）12,256,192

(4) 主な歳出（　　）は構成比

（千円・%）

区分	人件費	物件費	補助費等	扶助費	公債費	普通建設事業費	その他	計
R３決算	（8.4）961,755	（16.8）1,933,336	（10.1）1,157,359	（4.3）497,158	（1.0）117,209	（25.4）2,920,566	（34.0）3,922,490	（100.0）11,509,873
R４決算	（8.6）966,291	（16.8）1,896,602	（19.4）2,193,653	（3.8）431,588	（0.9）96,404	（17.3）1,955,858	（33.2）3,752,111	（100.0）11,292,507
R５決算	（9.2）998,300	（18.0）1,952,225	（12.8）1,389,441	（3.3）353,421	（0.9）92,494	（20.8）2,260,266	（35.2）3,820,121	（100.0）10,866,268

(5) 税の徴収率（国民健康保険税除く）

（%）

	現年課税分	滞納繰越分	計	現年課税分のうち 市(町村)民税	固定資産税		現年課税分	滞納繰越分	計	現年課税分のうち 市(町村)民税	固定資産税
R５決算	99.8	25.4	99.0	99.4	99.9	R４決算	99.7	22.2	98.9	99.3	99.9

公共施設整備状況

道路延長	都市公園面積	公営住宅等	幼稚園(認定こども園)	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	短大・大学	老人ホーム
188,523m	153,503㎡	301戸	－園（1園）－人（121人）	1校 153人	1校 65人	－校 －人	－校 －人	－校 －人	－所

公民館	集会施設	診療所	病院	道路改良率	道路舗装率	永久橋比率	上水道普及率	下水道普及率
2館	31所 3,175㎡	5所 0床	0院 0床	71.5%	79.1%	98.8%	－%	92.9%

公営企業（R５決算）

（　）は法適用企業にあっては経常損益、法非適用企業は実質収支（千円）

（法適用）
特環下水（　82,687）

（法非適用）
宅地造成（　　0）

主な郷土出身者

永山十志夫(日本画家)
永山　久夫(日本食文化史研究家)

今後の主要課題

（震災以外）
○「魅力ある教育」「農業の再生」「健康増進とスポーツ振興」の三本柱を軸に「新生ならは」の創造を目指す

（震災関連）
○震災関連重点事業の推進
○移住・定住施策の推進

（特色ある施策）
○甘藷を利用した６次産業
○移住定住施策

（姉妹都市）
アメリカ合衆国オハイオ州ユークリッド市
大沼郡会津美里町

（友好都市）
中華人民共和国黒龍江省五常市
長崎県壱岐市

主な立地企業

㈱Jヴィレッジ、住鉱エナジーマテリアル㈱、㈱ベルテクノプラント工業、恵和興業㈱、㈲三工精機製作所、矢野口自工㈱、㈱エヌピーエス、日本原子力研究開発機構、ウツエバルブサービス㈱、豊通リチウム㈱、㈱ピーエイ、㈱福島しろはとファーム、㈱デジラボホールディングス